

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くればす（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援実施前に3者で連携会議を行い、丁寧なアセスメント後に具体的な目標を明確にして支援を行っている。	3者共有のシート作成。事前にそれぞれが記入したものを1枚にまとめ、姿理解を深めている。	保育所等訪問支援以外でも日頃から関係機関と連携を深め、必要に応じた支援を実施していく。
2	保育所等訪問支援に外部支援（心理士）の同行もしている。	心理士の見立ても含めた振り返りの実施。	職員会議の中でも専門的な助言等を頂きながら、職員一人一人のスキルアップに繋げていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	タイムリーな支援の実施	継続的な訪問支援と新たな訪問支援の依頼がある中、関係機関との調整が難しかったり、計画的な実施が出来ていない	訪問支援の計画的な実施に繋がる様に、ニーズの把握や優先順位をつける（訪問支援についての会議を定期的実施）。
2	現在の姿のみではなく、中期・長期的な視点に立った支援についての検討	各関係機関と分野が異なる中での連携や情報共有の在り方の工夫を行う必要がある	家庭、関係機関と移行を見据えた中・長期的な視点を共有し、役割分担を明確にする
3			